

(ホームページもご覧下さい <http://www.ojima-shinichi.com/>)

筑西市下野殿 801-1 TEL0296 (24) 8951

市議会議員 小島 信一

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。



12月定例会より 報告 (令和3年第4回定例会) 令和3年1月15日発行

◎産業振興条例が成立

市内産業の振興は市民生活を支える基盤であり、地域を活性化させ魅力を高めるもの。雇用の維持・創出、地域内経済の循環を図るため新たに制定。

◎西部メディカルの第2期中期目標

筑西市は西部メディカルに対し、4年毎に中期目標を提示している。西部メディカルのあるべき姿、取るべき対策を求めるもの。令4年度から令7年度まで。

◎補正予算事業のトピックス

- ・議会 ICT 推進のためのタブレット購入
600万円
- ・議会のペーパーレス化、議事進行の効率化を図れる。
- ・コロナワクチン追加接種事業
6600万円
- ・5歳から11歳の子供 6300人に対する接種委託料



◎債務負担行為補正が可決—76事業

地方自治法の定めで、年度をまたいで次年度の業務委託契約をすることはできません。しかし、新年度早々から執行しなければならない業務は、現実には前年度内に契約する必要があります。これを可能にするため「債務負担行為」制度があります。

新事業で主なものは、

- ・循環バス実証実験運行委託
3路線で 4700万円
- ・一般ごみ収集運搬委託
1億6600万円
- ・医師派遣のための寄付講座
2大学 5700万円
- ・新型コロナワクチン関係予算
5事業 1億6500万円
- ・筑西広報誌印刷・配送
2800万円
- ・議会だより印刷
400万円



—定例会の話題—

◎債務負担行為の1事業について否決

上記のとおり 76事業について認められたが「スピカビル・コナミ跡の整備設計3800万円」が否決された。

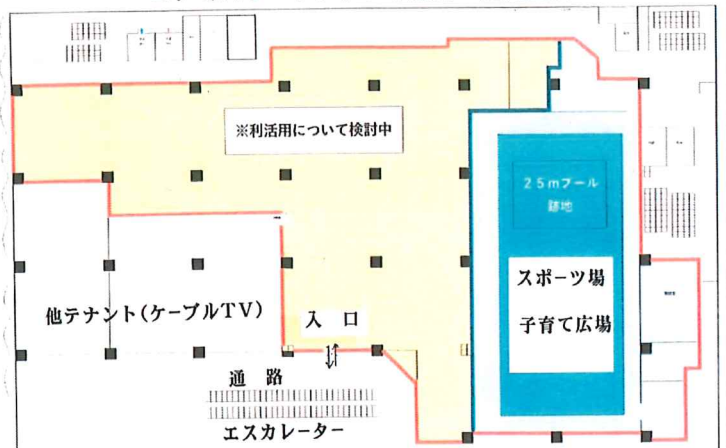
経緯 令和2年コナミは営業不振を理由に賃料の減額を要求したが交渉は決裂。同年7月末日をもって撤退。

令和3年11月に議会説明・駅前への賑わい創出、商業施設と市役所の複合ビルという位置づけから今後の整備を検討すると説明。

- ・福祉文教委員会 (今定例会)
計画は未だ不確定な部分が多い実施計画のための予算は削除
- ・反対討論 (小倉議員)
再検討し本予算に提出すべき。



コナミスポーツクラブ下館跡の活用方針



執行部から説明のあったコナミ跡エリアの整備予定図
令和3年9月に市民アンケート(1379人)を行った。

- ・図右側エリアがプール跡。子育て広場・スポーツ場
- ・図左側エリアは平面。カフェ、勉強、テレワークエリア

議案質疑

◎議案92号——路線バス実証実験運行の令和4年度予算について（債務負担行為）

小島質問：地域内運行バス実証実験運行（下館駅前から玉戸を通り遊湯館を往復する路線）に1600万円。

1日6往復12便、その利用状況は？

部長答弁：1日平均28人、1便では2～3人。

小島質問：利用は低調。今後の改善計画は？

部長答弁：利用が見込まれるコースを検討したい。玉戸から川島方面は水戸線と並走するため大田郷、幸町方面の路線としたい。



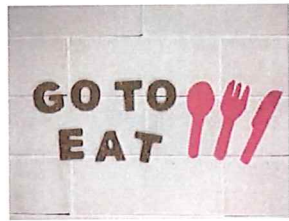
○費用対効果の観点から検討すべき。公共交通はデマンドタクシーを改良することを提案したい。

一般質問

◎社会経済活動とコロナ感染対策の両立は

小島質問：現在、国や県はウィズコロナを推奨している。2刀流である。野球、サッカーなどプロスポーツ、コンサートなど大規模イベントの入場制限を緩和し、そしてGO TO EATキャンペーンを実施している。

しかし、我が筑西市では自粛つまり感染対策が主流となっている。年末年始の市主催のイベントはほぼ中止。市長はこの状況を両立と考えているか



市長答弁：感染対策は、立場によって考え方、感じ方は違う。市としては市民の安全を最優先とする以上、自粛の度合いが強くなることはやむを得ない。

経済部長：市では下館駅前ロータリーの賑わいと彩りを演出するイルミネーションの設置、大町通りの賑わいである新春だるま市の準備をしています。また地元商店、飲食店を応援するプレミアム商品券発行など、社会経済活動の回復に取り組んでいます。

◎ 中止となっている賀詞交換の再考を

小島質問：現在の全国及び県内市内の感染者数の状況を合理的に分析すれば、社会経済対策をもう一步進めてよいのではないかと。そのため現在中止となっている賀詞交歓会を第6波なしを前提に再考すべきではありませんか。桜川市、結城市では感染対策を施して開催するようです。両立です。自粛、中止に偏れば健全な市民生活に悪影響を及ぼします。

市長：賀詞交歓会に関してはプラスとマイナス十分議論して得た結果です。再考は難しい。



R2年の賀詞交歓会

◎シティープロモーションを一元的に推進する

小島質問：シティープロモーションとは総合的な市のPRであり売り込みです。

——ホームページはPRの第1位——

観光イベントの担当は観光振興課と観光協会、これをホームページでPRするのは広報広聴課。しかしホームページでは観光イベントが十分にアップされていない。連携不足がある。



——特産品、農産物も名品ぞろい——

筑西市には優れた特産品、農産物がある。優良産品、筑西ブランド制度がありまた県から指定される銘柄産地もある。宮内庁献上物が3つもある。しかしながらこれらが統一されたPRがなされていない。



——住みやすさ、行政サービスも上位——

筑西市の住みやすさは素晴らしい。子育て支援、若者支援、他市より有利なプレミアム商品券、その他他市にない行政サービスがある。これら筑西市の住みやすさを総合してPRする部署がない。

地方創生を進める上で、シティープロモーションは重要。観光を売り込む、特産物・農産物を売り込む、暮らしやすさを売り込む、すなわち筑西市を売り込むことです。これらを一元的にシティープロモーションでできる部署が必要ではないか

部長答弁：県内にはプロモーション推進課を設置して一元に推進している自治体もある。当市ではそういった自治体を参考にし、広報広聴課を以て各部署と横断的な連携を図り広報活動を進めてまいりたい。